

ロピニロール錠0.25mg・1mg・2mg「JG」の 服薬指導書

【警告】

前兆のない突発的睡眠及び傾眠等がみられることがあり、また突発的睡眠により自動車事故を起こした例が報告されているので、患者に本剤の突発的睡眠及び傾眠等についてよく説明し、本剤服用中には、自動車の運転、機械の操作、高所作業等危険を伴う作業に従事させないよう注意すること。（「重要な基本的注意」及び「副作用」の項参照）

【禁忌（次の患者には投与しないこと）】

- (1) 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
- (2) 妊婦又は妊娠している可能性のある婦人（「妊婦、産婦、授乳婦等への投与」の項参照）

用法・用量

通常、成人にはロピニロールとして1回0.25mg、1日3回（1日量0.75mg）から始め、1週毎に1日量として0.75mgずつ増量し、4週目に1日量を3mgとする。以後経過観察しながら、必要に応じ、1日量として1.5mgずつ1週間以上の間隔で増量し、維持量（標準1日量3～9mg）を定める。いずれの投与量の場合も1日3回に分け、経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減するが、ロピニロールとして1日量15mgを超えないこととする。

〈用法・用量に関連する使用上の注意〉

- (1) 本剤の投与は「用法・用量」に従い少量から始め、消化器症状（悪心、嘔吐等）、血圧等の観察を十分にを行い、忍容性をみながら慎重に増量し患者ごとに適切な維持量を定めること。また、本剤投与中止後再投与する場合にも少量から開始することを考慮すること。
- (2) 一般に空腹時投与において悪心、嘔吐等の消化器症状が多く発現する可能性があるため、食後投与が望ましい。

漸増投与方法例（標準維持量：3～9mg/日）

	初期漸増期				任意漸増期							
投与期間（週）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1回量（mg）	0.25	0.25 0.25	0.25 0.25 0.25	1 0.25	1 0.25 0.25	2 0.25	2 0.25 0.25	2 1 0.25	2 1 0.25 0.25	2 2	2 2 0.25 0.25	2 2 1
1日量（mg）	0.75	1.5	2.25	3.0	4.5	6.0	7.5	9.0	10.5	12.0	13.5	15.0

○0.25 0.25mg錠 ① 1mg錠 ② 2mg錠 ■ 標準維持量

※使用上の注意等の全文につきましては、本剤の添付文書をご参照ください。

ロピニロール錠0.25mg・1mg・2mg[JG]

処方された患者さまへ

本剤を含め、パーキンソン病のお薬は、個々の患者さまの症状に応じたお薬の種類と量が処方されます。

以下の表にしたがって、記入された錠数を忘れずに服用してください。

服用方法

月／日	朝食後		昼食後		夕食後	
／ から ／ まで	0.25	錠	0.25	錠	0.25	錠
	1	錠	1	錠	1	錠
	2	錠	2	錠	2	錠
／ から ／ まで	0.25	錠	0.25	錠	0.25	錠
	1	錠	1	錠	1	錠
	2	錠	2	錠	2	錠
備考						

- 飲み忘れた場合は、次の決められた時間に1回分を飲んでください。絶対に2回分を一度に飲まないでください。
- 体調が悪くなったり、気になる症状が出た場合は、必ず主治医にご相談ください。

服用する際の注意事項

自動車の運転、機械の操作、高所作業などの危険を伴う作業はしないでください。

このお薬は、服用すると急に眠くなったり、何の前兆もなく眠り込んでしまうことがあります。このため、自動車の運転、機械の操作、高所作業などをすると事故につながる可能性がありますので、このような作業は行わないでください。

〈その他の注意事項〉

◆妊娠中または授乳中の方は注意してください。

- ・妊娠しているまたは妊娠している可能性のある方は、主治医にご相談ください。
- ・授乳中の方は、人工乳に変更してください。

◆なるべく食後に服用してください。

- ・空腹時に服用すると吐き気や嘔吐などの症状があらわれることがあります。

◆自分の判断でお薬の量や回数を変更したり、服用を中止したりしないでください。

- ・体調が悪くなったり、気になる症状が出た場合は、必ず主治医にご相談ください。

⇒このお薬は、急に中止すると、発熱、意識障害、全身硬直、ふるえ、自分の意志とは無関係に起こる身体の動き、血圧の低下、発汗などの非常に重い症状があらわれることがあります。

減量や中止が必要な場合は、徐々に量を減らす必要がありますので、主治医の指示に従ってください。

主治医にお伝えいただきたいこと

このお薬の服用を始める前に、次のようなことを主治医に伝え忘れていないか、ご確認ください。

- ◆今までにお薬を服用して、発疹が出たり、動悸がしたり、または気分が悪くなったことがある。
- ◆パーキンソン病のお薬以外に継続して服用しているお薬がある。
- ◆心臓、腎臓、肝臓の病気にかかったことがある。

製品に関するお問い合わせ先

日本ジェネリック株式会社 お客様相談室

受付時間:9時～18時(土、日、祝日を除く)
TEL 0120-893-170 FAX 0120-893-172